

WS 「災害から未来の命を守るワークショップ」 ～釜石市防災市民憲章制定に向けた市民の誓い～」が開催されました

釜石市防災市民憲章制定市民会議は、2月から3月にかけて各地区8会場と全体会場の合計9会場で、防災市民憲章制定に向けた市民ワークショップを開催しました。

このワークショップには延べ219人が参加し、防災市民憲章を誰に伝えたいか、何年先まで伝えたいか、どんな方法で伝えたいか（活用）など、防災市民憲章のイメージを共有し、釜石市教訓集などこれまで積み上げてきた言葉をベースにしながら具体的に伝えたい言葉などについて考えました。

ワークショップの結果については、4月21日の市民フォーラムで共有されます。



グループで考えた言葉の発表
(鶴住居地区)

市民会議の活動予定

2月～3月 ワークショップ WS

4月21日 市民フォーラム FORUM

5月～ 起 草 作 業

6月～7月 防災市民憲章素案作成

市長への提言

各委員会で協議し、意見募集を実施した後、9月の市議会で議案を提出する予定です

FORUM みんなでつくろう防災市民憲章フォーラム ～災害から命を守る市民の誓い～

釜石市防災市民憲章制定市民会議は、前述のワークショップの成果を市民の皆さんと共有するとともに、防災市民憲章の素案作りに向けて、防災市民憲章のあり方を考える市民フォーラムを開催します。

次の世代に震災の教訓を伝え、あらゆる災害から命を守る、釜石らしい防災市民憲章について一緒に考えましょう。

| 日 時 | 4月21日(土) 13時～15時 |
|-----|--|
| 内 容 | <p>■活動報告：「災害から未来の命を守るワークショップ」9会場の成果報告</p> <p>■市民ディスカッション：「釜石らしい防災市民憲章とは」</p> <p>【モデレーター】</p> <p>釜石市防災市民憲章制定市民会議 議長 丸木久忠さん (（福）釜石市社会福祉協議会 会長)</p> <p>【パネリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜石高校生徒（調整中） 三陸ひとつなぎ自然学校 代表 伊藤聡さん 釜石あの日あの時甚句つたえ隊 北村弘子さん 松原町自主防災会 事務局長 柴田渥さん <p>■まとめ</p> <p>「釜石らしい防災市民憲章のまとめ方について」</p> <p>釜石市防災市民憲章制定市民会議 顧問 齋藤徳美さん（岩手大学名誉教授）</p> |
| 会 場 | 釜石情報交流センター チームスマイル・釜石PIT（大町1-1-10） |
| 参加費 | 無料、申し込み不要 |
| 主 催 | 釜石市防災市民憲章制定市民会議 |

【問い合わせ】釜石市防災市民憲章制定市民会議事務局（市総合政策課 震災検証室内） ☎27-8413

忘れない震災 × 伝える教訓

東日本大震災から7年が経ちました。市は平成30年度に震災の教訓を伝え、あらゆる災害から未来の命を守るための「市民の誓い」として、防災市民憲章の制定を目指しています。現在、釜石市防災市民憲章制定市民会議がその素案を作成するために活動しています。その活動の中では、防災市民憲章をはじめ震災の教訓を伝える方法も模索されています。また、観光ボランティアガイドなどの語り部の活動をはじめ、市民の有志によって震災の教訓を伝える活動も行われています。

事例紹介

新春韋駄天競走



広報かまいし2015年2月18日号の表紙

只越町の消防屯所から標高約30メートルの仙寿院へ向けて、286メートルの急坂を全力で駆け抜ける韋駄天競走。「津波が来たら速やかに高台へ」という津波でんでんこの教訓を後世に伝え、高台へ避難し津波から命を守る意識啓発を目的に4年前から毎年開催されています。競走終了後には、参加者や応援者、スタッフが海に向かって黙とうをささげています。※今年の広報かまいし3月15日号14ページ参照

釜石あの日あの時甚句

釜石あの日あの時甚句つたえ隊による甚句。相撲一家で育ち、国体の相撲の選手でもあった兄を震災で亡くした藤原マチ子さんが兄をしのんで作った相撲甚句をはじめ、相方の北村弘子さんと二人で作った9つの甚句で、震災を歌い語り継ぐ活動をしています。10作品目は復興甚句として創作できるように、釜石の復興を心から願っています。

※次のページに紹介するフォーラムで甚句の披露と共にパネラーとして北村さんが登壇する予定です



月命日の11日は宝来館で甚句を披露しています

スタコラ音頭



「ハァー スタコラサッサ 地震だ強いぞ津波が来るぞ ハァ スタコラサッサ」

釜石の夏の風物詩・釜石よいさ。よいさ小町が披露する踊りの中に、この音頭があります。津波に追われながら逃げた体験を歌詞にした「スタコラ音頭」は、釜石最後の芸者といわれた故伊藤艶子さん（芸者名・藤間千雅乃）らによって2013年に制作。沿道の観客も踊りの輪に加わり、スタコラ音頭を踊ります。

地域防災チーム「かだっぺし」 高校生の紙芝居

東日本大震災を経験した釜石高校の岡本さくらさん・佐野里奈さん・鈴木紅花さん・永田杏里さん・松田悠河さんの5人が、当時の自分たちと同じ小学4年生に、震災の教訓を伝え、自分一人でも逃げられる力をつけてほしいとして、防災の授業を鶴住居小学校で行いました（2月27日）。

5人は聖学院大学の学生と三陸ひとつなぎ自然学校のサポートを受けて、津波でんでんこを題材にした紙芝居と○×の防災クイズを行いました。

特に紙芝居は、当時鶴住居小学校で被災し、釜石東中学校に在籍していたお兄さんに手を引かれ、津波から逃げて命を守った佐野さんの体験（釜石の出来事）に基づいて作られました。



津波でんでんこの話をしっかり受け止めた小学生